

平成28年度いばらき成長産業振興協議会事業計画

(1) 主な事業概要

- 業界や大手企業の動向や先端技術等，成長分野への進出に役立つ情報提供
- 工場見学会，勉強会，技術提案等を通じた，パートナーとなる大手企業等との交流機会の提供
- 大手企業との取引開始に向けた技術提案や製品化に向けた研究開発支援
- 「IoT」「ロボット」等の次世代技術に関する理解を促進するとともに，次世代技術の活用による成長分野への参入等を支援するため，次世代技術研究会を新設

(2) 既存4研究会の主な取組内容等

【次世代自動車研究会】

- 最新の技術動向に関する情報提供
 - ・超スマート社会に向けた自動車メーカーの取り組みに関する講演会（7/19）
 - ・自動運転技術に関する勉強会（8/23）
 - ・他地域に負けないコスト削減加工技術に関する講演会（12月）
 - ・軽量化に対応する新素材や加工技術に関する講演会（10月）
 - ・大手企業による技術開発の紹介や勉強会，競争力強化に関する情報提供を行う。
- 受注・取引開始に向けた大手企業との交流支援（産業支援機関と連携）
 - ・大手自動車部品メーカーの工場見学会と技術提案（11月）
 - ・ドイツ自動車関連企業との交流，商談会（日立地区産業支援センターと連携）（2/22）
 - ・マッチングサイトを活用した案件紹介と橋渡し
 - ・大手企業のニーズ調査，案件入手に加え，積極的に技術提案の場を設け，具体的案件については，納品に至るまでの確実なフォローを行う。
- 会員企業の技術課題に対する産学官連携による解決支援
 - ・技術開発における産学官連携体制の構築支援
 - ・競争的資金の申請支援

【環境・新エネルギー研究会】

- 風力発電メンテナンス技術の向上及び人材育成に向けた取組み支援
 - ・風力発電施設メンテナンスセミナー（6/24）
 - ・風力発電メンテナンス部会の開催（3回程度/年）
- 大型風力発電部品の受注促進
 - ・受注継続と受注拡大のための，大手企業と会員企業との橋渡し
- 「小型風力」，「省エネルギー」等の分野における情報提供・情報交換
 - ・省エネルギーセミナーの開催（8月，1月）
 - ・再生可能エネルギーセミナーの開催（9月）
 - ・小型風力勉強会（随時/年）
- 「未利用熱」，「再資源化」，「水素利用エネルギー」等の分野における情報収集・提供
 - ・当該分野において情報収集を行い，選別して会員企業へ情報提供を実施
- 会員企業間の連携を促進
 - ・新ビジネス発表会・交流会の実施（11月）

【健康・医療機器研究会】

- 医療大ニーズと県内企業の技術シーズのマッチングによる機器開発支援の継続
 - ・ニーズ発表会（8月）、医療大と県内企業との交流会（9月）
 - ・現場に近い医療大の教員・医療従事者等からのニーズを企業とマッチングさせ、機器開発を支援
- 県内企業の海外展開、最新技術の活用、健康志向の高まり等を視野に入れた情報提供
 - ・各種講演会の開催（6月、9月、10月）
 - ・健康・医療・介護分野の機器開発に関する最新動向や事例について情報提供し、新規開発を支援
- 大学の医療技術シーズや機器開発先進事例の視察
 - ・医療技術シーズ見学会（11月）、医療・介護機器メーカー交流会（12月）
 - ・企業に大学の医療技術シーズや医療・介護機器の製造の現場などを見てもらうことで、機器開発のあり方を考える機会を提供
- グローバルニッチトップ企業育成促進事業と連携した機器開発支援の充実
 - ・当該事業を活用し、研究会でマッチング等を進めている機器の開発を支援

【食品研究会】

- 機能的食品の開発及び機能的表示食品制度の活用支援
 - ・機能的食品セミナー及び技術相談会の開催（7月、11月）
 - ・技術相談会で発掘課題の解決に向け、筑波大学等との連携による研究開発等を推進
- 介護・高齢者食、健康食向け商品の開発支援
 - ・介護・高齢者食、健康食の最新動向及び開発事例紹介セミナー（9月）
 - ・食品加工メーカーと介護食品メーカー、介護施設等との橋渡し活動を強化し、会員企業による商品開発や取引拡大等を支援
- 食品加工技術・機械の開発支援
 - ・食品加工技術・機械等に関する先進事例紹介セミナー（12月）
 - ・食品加工メーカー等の課題と機械メーカーの技術を結びつけ、食品加工技術・機械の開発を支援
- 豆乃香プロジェクトの推進
 - ・豆乃香の販売を促進するため、納豆メーカーや食品加工メーカーが行う国内外向け商品の開発を支援
 - ・海外向けには、常温保存可能商品やロングライフ商品の開発を支援
- 海外輸出支援
 - ・輸出拡大支援駐在員（駐在員）の活動を通じ、「豆乃香」や干し芋等の加工食品について、海外における販路開拓等を支援

（3）次世代技術研究会の新設

①設置趣旨

国において「IoT推進コンソーシアム」の設立、「ロボット新戦略」の策定など、次世代技術への対応に向けた動きが進められており、地方においても、「IoT」「ロボット」等に関連する次世代技術を活用し、地域課題の解決や地域経済の発展に繋げていくことが期待されている。

このような中、本県においても、県内中小企業の次世代技術に対する理解を促進するとともに、新たな技術や製品の開発を支援する必要がある。

このため、他の4研究会とも分野横断的に連携しながら、会員企業による次世代技術を活用した成長分野等への進出を目的とする次世代技術研究会を設置する。

②取組方針及び事業内容

○「I o T」「ロボット」等に関する情報提供や見学会を行い、会員企業の次世代技術に対する理解を促進し、次世代技術に取り組む契機とする。

- ・ I o Tの技術動向に関するセミナー（I o T事例紹介）（9月）
- ・ ロボット技術セミナー（ロボット事例紹介及び視察）（2月）
- ・ 大手企業工場見学会（10月）

※今年度、県内においては、大学や金融機関、産業支援機関、各種団体等の主催により、次世代技術に関する多くのセミナー・事例視察等（別紙1）が企画されていることから、これらと連携し、一体的な活動を推進する。

○センサー等のI o Tにつながる要素技術と、これらの技術を保有する県内企業について調査を行うとともに、活用方法の検討を行い、会員企業による技術開発等につなげる。

○企業の生産現場が抱える課題等を明らかにするとともに、これらの解決に向けた産学官連携や競争的資金の活用等を積極的に進め、会員企業による次世代技術に関する技術・製品開発を促進する。

- ・ 大手企業工場見学会（10月）【再掲】

○中小企業のI o Tの活用を支援する「中小企業I o T等自動化技術導入促進事業（別紙2）」と連携し、生産技術の高度化や新製品・新サービスの創出による競争力強化を支援することにより成長分野等への進出に繋げるほか、I o Tの活用を検討する企業と会員企業の交流の場を提供する。

- ・ 技術展示・提案会（10～2月、3回程度）

○国による「地方版I o T推進ラボ」設立の動きに対応するため、「茨城県版I o T推進ラボ」の設立に向けた取り組みに参画し、大学や金融機関、産業支援機関、各種団体等との連携により、本県におけるI o T導入促進をサポートする体制を構築する。

平成28年度 いばらき成長産業振興協議会 年間スケジュール 概要版 ○:大手との交流/イベント ◇:セミナー

	協議会全体の取組 (商談会, 産学連携, 個別支援)	次世代自動車	環境・新エネ	健康・医療機器	食品	次世代技術
通年・随時	・産学, 産産, 異業種連携支援 ・ものづくり補助金支援 ・サポイン申請開発支援	・生産性向上勉強会 (3D-CADやCAE, ロボット技術)	・風力発電メンテナンス勉強会 ・小型風力勉強会			
4月						
5月						
6月			◇◇風力発電施設メンテナンスセミナー	◇医療・介護機器に関する海外市場動向等の講演会		
7月	○総会 7日	◇超スマート社会に向けた自動車メーカーの取組に関する講演会		○県立医療大学等と企業との交流	◇第2回機能性食品(相談)セミナー ○大手メーカー最新工場見学会	
8月			◇省エネセミナー	○県立医療大学におけるニーズ発表会	◇ファインバブルセミナー	
9月	○しんきんビジネスフェア2016 ○原研東海での県内企業技術展示会	◇自動運転に関する講演会 ○自動車部品等の技術提案商談会	◇再生可能エネルギーセミナー	◇IoT・ロボットを活用した機器開発に係るセミナー	◇介護・高齢者食等セミナー	◇IoTの技術動向に関するセミナー
10月		◇自動車部品の軽量化に対応する新素材や加工技術に関する講演会		◇スポーツ関連機器産業に関するセミナー	○体験型望行テーマパーク見学会	○工場見学会
11月		○大手自動車部品メーカー等の工場見学	○◇新ビジネス発表会・交流会	○医療シーズ見学及び臨床現場との交流	◇機能性食品セミナー	○技術展示・提案会
12月	○産総研での県内企業技術展示会	◇他地域に負けないコスト低減に関する講演会		○医療・介護機器メーカーとの交流	◇加工技術・機械セミナー	○技術展示・提案会
1月			◇省エネセミナー		◇ファインバブルセミナー	○技術展示・提案会
2月	・次年度計画案 運営委員会 ○常陽ものづくりフォーラム				○常陽食の商談会	◇ロボット事例紹介と企業交流会
3月	・取りまとめ, 次年度詳細計画					

他機関との連携によるセミナー・事例視察等の